

2022年度 事業者向け・放課後等デイサービス自己評価表

2023.3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースは確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる職員配置数を確保しています。しかし、医療度の高い利用者が増えてきているので今後看護師の人数を検討していく必要があると考えています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			基本的にバリアフリー化の配慮はできていますが、居室内のスロープや段差がある為、安全面に考慮していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングで問題点等を話し合い、見直しを行っています。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			職員間で話し合い業務改善を行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者向けアンケートと事業者向け自己評価をホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			ISO9001を取得しています。年1回監査を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			多職種職員が専門性のある内部研修を実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い、サービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			保育士を中心に活動内容を検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			毎月、季節に応じた活動、集団活動内容が固定しない様、活動予定を考えています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			定期利用している利用者が主な為、同じ活動を行っています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人一人に応じた計画を作成実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の業務内容、前回の利用者の状態等を職員間で情報共有をしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の出来事、連絡事項等を職員間で情報共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			毎日、個々の記録を取っています。利用者の状況、活動の様子支援相談等を記録しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要に応じて随時行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの基本活動を考慮しつつ、ご利用者に沿った支援を行っています。

関係機関や保護者との連帯関係	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		基本、児童発達支援管理者が出席しています。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		現在、休日、長期休暇中に利用する利用者のみが利用している為、学校との連絡調整等はありません。卒業後の利用についての情報共有は適時行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		ご家族より診療情報提供書を頂き、情報を事前に得ています。緊急時には、当院医師との連絡体制を整えています。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	現在、該当ご利用者はいません。該当するご利用者がいた場合には、情報共有と相互理解に努めます。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	現在、該当ご利用者はいません。該当するご利用者がいた場合には、情報共有と相互理解に努めます。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じて検討したいと思います。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	必要に応じて検討したいと思います。
	㉗	(地域自立支援)協議会等の研修へ積極的に参加しているか	○			栃木市障がい者等自立支援協議会の研修に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用毎に利用中の身体状態や活動の様子を口頭や連絡ノートでお伝えしています。確認事項があった場合は、そのつどご家族に確認しています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○		
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行っています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談に対しては、助言や情報提供を行っています。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在コロナ禍の為、今後検討していきたいと思っています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご家族からの苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応させて頂いています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年4回、広報誌を発行しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			取り扱いには十分注意しています。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			説明は分かりやすい言葉で、ゆっくり丁寧に伝えるように心掛けています。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	以前は、法人全体実施していましたが、コロナ禍未だ実施しておりません。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアル等は、職員に周知しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			1回/月、実施しています。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			院外研修に参加し、職員に周知しています
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束については、支援計画書に記載し、説明をさせていただいています。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用前に確認させていただき、栄養士により管理しています。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例があった場合は、職員間で話し合い事故防止に努めています。